

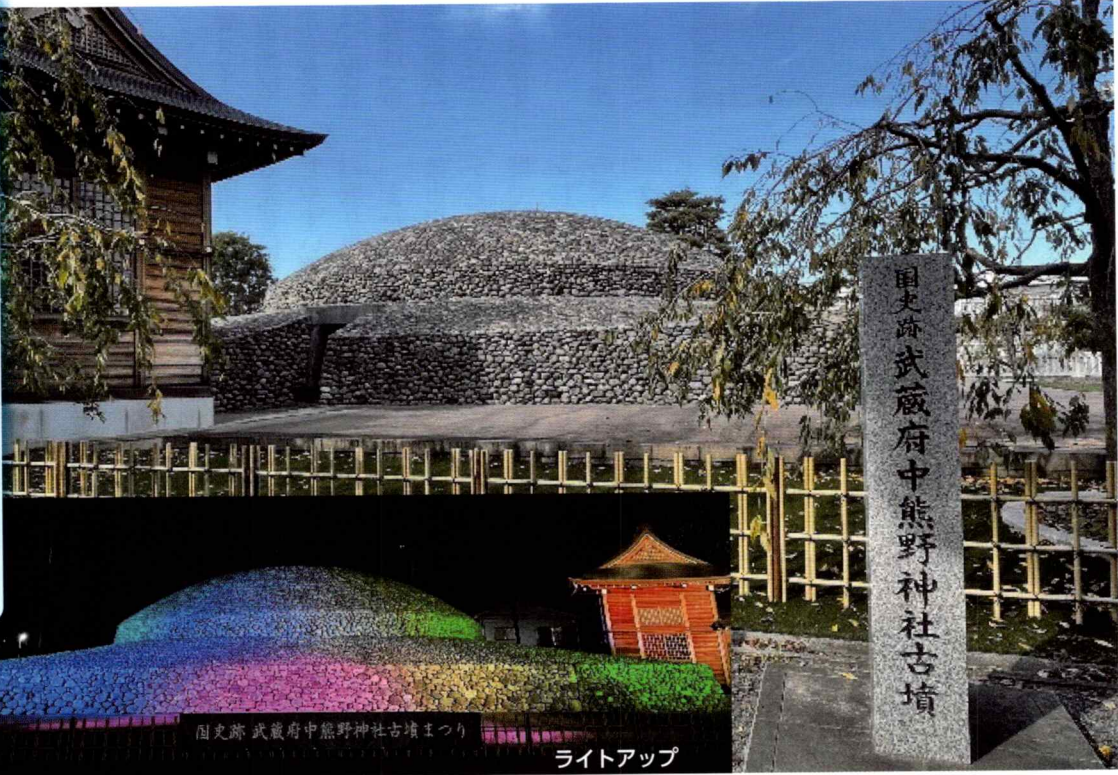


府中地区保護司会だより

第54号

発行 府中地区保護司会 会長 朝倉俊夫

府中市西府町の国史跡「武蔵府中熊野神社古墳」は、7世紀中頃の飛鳥時代に造られた国内最古の上円下方墳。四角い墳丘の上に丸い墳丘が重なった、全国でも10例に満たない希少な形の古墳。石が葺かれた上円下方墳の中では最大最古のもの。2005年に国史跡に指定された。



国史跡 武蔵府中熊野神社古墳まつり

ライトアップ

人は何故非行や罪を犯すのか

副会長 市川耕作



令和五年四月より府中地区保護司会副会長を拝命し、研修部を担当させて頂いています。副会長として会長が活動しやすい環境作りを

励みたいと思います。この三年間コロナ禍で保護司会の研修部も十分に活動できなかつたが、令和五年度は五類に移行し、活動ができる状況になりました。定例研修、実務研修そして日帰り研修など本来の活動を実施し、懇親会もできるようになり保護司相互の親睦も深められるようになりました。来年度には宿泊研修も是非取り入れたいと思います。

さて、人は何故非行や罪を犯すのかを考えてみたい。生まれながらの犯罪者は世の中にいません。「三つ子の魂百まで」という諺があります。人間の脳の発達幼児期に八十年から九十パーセントが完成すると言われています。この時期に経験し培ったことや指導されたことは、その人の人間形成に大きく影響されるということです。例えば、幼児期に虐待等を受け続けると、その人が大人になった時、自分の子どもにも虐待する例があります。子どもに限らず人は誰も自分の存在価値を認められたい欲望が少なからずあり、それが満たされないと非行や犯罪に行動を起こしやすいのではないかと。愛情のない躰は虐待に相当すると思います。保護司会会員の中には孫を持つ人が多くいます。幼児期、少年期の教育には愛情を持って接するのが望ましいと思います。何らかの理由で罪を犯した対象者に対しても、再犯防止のため存在価値やプライドを認め愛情を持って接したいと考えます。

令和五年度

第7ブロック保護司組織運営連絡協議会

副会長 小澤 秀敏



令和5年10月26日、第7ブロック協議会が武蔵野市の「武蔵野スイングホール」(当番地区は北多摩東地区)において開催され、5地区から意見発表がありました。協議会では「保護司の育成」について考える、副題は「新人保護司の育成」【経験知識の継承】【研修の在り方】で、府中地区ではこの協議会に向けて5回の協議員会を行い準備しました。

①独自の実務研修会を実施②新人保護司の研修部への配属③研修における先輩保護司からの事例研究④参加しやすい時間帯での保護司会活動等の取り組みについて発表しました。またパワーポイントの作成・操作は市川耕作保護司が担当し、発表とシンクロするよう注力しました。質疑では5年前の研修会「アサーションについて」のご質問を頂きましたので、「対人関係を円滑にするコミュニケーション」のことであると回答しました。協議会数日後の全国紙に認知行動療法の一環として「アサーション」が取り上げられていて、相手も自分も不快にならない自己表現の仕方とありました。今回、協議会をきっかけとして北多摩西地区との情報交換会を行うなど新たな交流も生まれ、より意義のある協議会になりましたことを報告いたします。ご協力を頂いた皆様に感謝を申し上げます。

多摩連会長としてのご挨拶



多摩地区保護司会連絡協議会
会長 前田 善一郎

令和5年度より多摩地区保護司会連絡協議会の会長を務めさせていただいています八王子地区保護司会所属の前田善一郎です。多摩連でも令和4年までは、コロナウイルスの影響で十分な活動ができずにはいましたが、令和5年度よりは、ようやく従前に戻ろうとしています。しかし他のウイルスの流行もあり注意しながら会の運営にあたっています。多摩地区保護司会連絡協議会は、多摩地区にある9つの地区保護司会で構成されています。その会員数は、1,000人を超えています。東京保護観察所立川支部の所轄管内にあたります。9つの地区保護司会の中には、府中地区保護司会のように単独の自治体で地区保護司会が出来ているものといくつかもの自治体が合わさって一つの地区保護司会が構成されているものがあります。単独の自治体で保護司会が出来ているものは、保護司会の体制も堅固なものになると思います。その強みにより府中地区保護司会は、保護司の充足率もトップクラスとなっております。多摩地区の各自治体でも再犯防止推進計画の策定が進んでいます。府中市では、地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画に包含し早期に作成されました。作成にあたっては、保護司会の貢献も大きいと言えます。それにより府中市との連携が進み市民の安心安全に寄与していると聞いています。それぞれの多摩連を構成する保護司会は、それぞれの特徴をもって活動していますが多摩連のもとに集まり東京の多摩地区をより住みやすい安心な街へと活動しています。

「公開講演会」

地域活動部 古川 耕央



12月5日(火)、府中市市民活動センタープラッツ5階バルトホールに於いて、令和5年度公開講演会が、元反社会団体構成員の経歴を持つ弁護士として注目を集める諸橋仁智弁護士を講師としてお迎えし、府中地区更生保護女性会と共催された。注目を集める諸橋弁護士の講演とあつて当日は各種団体や一般聴衆者合わせて156人が来場し、また諸橋弁護士のドキュメンタリー番組制

作でNHKの取材班も来場した。

約15分の開会セレモニー中の講師紹介では、杉浦地域活動部長が諸橋弁護士の著書『元ヤクザ弁護士』より内容を引用しながら諸橋弁護士が思う「生き直しのコツ」を紹介し講演が開演された。

子供の頃は非行とは全く無縁だったと自認する諸橋弁護士が、生活が乱れ、非行に走り薬物に手を染め、そして反社会団体の構成員となり、さらに薬物依存が進み、自分が壊れていく様を赤裸々に語る内容に、来場した聴衆のある者は興味深く、またある者は目頭を熱くしながら聞き入り、予定された1時間の講演時間はあつという間に過ぎ、また閉会後に行われた著書の販売サイン会にも長蛇の列ができた。

諸橋弁護士はその著書や講演の中で、自身が更生するにあたって実践した事として①生活リズムを朝型に整える②人間関係を取捨選択する③しつこくなる、の3点を挙げた。

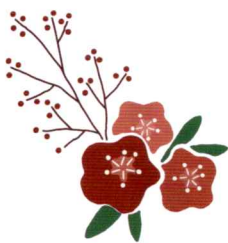


それぞれの詳細はここでは割愛するが、どれも当たり前と感じるこれらの事が、その実これを完璧に実践できている者が果たして世の中にどれほど居るかを考えたとき、誰もが非行に陥る可能性を秘めているのではないかと思うと同時に更生保護の実践の場においてもそれを考え方の根底に据えることが重要だと認識させられる講演会だった。

更女の活動

府中地区更生保護女性会
会長 奥田 美津子

令和5年度はコロナ禍での行動の制限がなくなり、社会活動は人々との交流が活発になり以前の生活になりました。研修部は四年ぶりに日帰り管外バス研修を実施、又「ミニ集会・手芸」を開催しました。地域活動部は府中第八中学校での「道徳授業参観」に参加、学習会「心を育てる」を開催しました。広報部は広報紙「府中更女だより」第二八号を発行します。ぜひご覧下さい。「福祉まつり」では府中地区BBS会と一緒にPR活動をしました。その他、幼稚園・保育園の行事に参加し交流を深めました。又関係機関団体の行事が再開し活動が始まりました。これから移り行く社会に寄り添いながら会員皆さまと楽しく活動をしていきたいと思ひます。



日帰り研修会 更生保護施設

紫翠苑

研修部 崎山 弘



令和5年9月29日、朝倉会長はじめ19名は八王子市内の更生保護施設「紫翠苑」で日帰り研修を実施した。八王子駅の南側で標高150mの小さい高い丘の上にある紫翠苑の屋上からは新宿のビル街やスカイツリーを望むことができた。紫翠苑は、昭和44年から使われていた前施設を令和4年3月に建て替えたばかりの二階建ての、全国でも珍しい女性専用の更生保護施設である。定員は少年女子、成人女子合わせて20名。居室はすべ

て個室、共有スペースとして、トイレ、浴室、シャワー室、食堂、集會室などがあり、カウンセリングルーム、応接室、3つの面接室も確保されていた。真田安浩施設長より苑生（入所者）の更生を支援するに当たっての熱意と地域に開かれた施設にするための努力が感じられる説明を受けた。その後、丁寧な苑内見学があり、大変有意義な研修であった。



実務研修会

研修部 廣野 ひとみ



今年度の第2回実務研修会は、11月15日「就労支援について」というテーマで、ハローワーク府中の佐藤敬司氏に講演していただきました。

出所者の就労において、出所者の情報を開示した方が就職しやすく、高い就職率を表しているとのことでした。

コロナ禍の時は、ワクチン接種・抗原検査が義務付けられ、ご苦労が多かったようです。最近は短絡的な考えの受刑者も多く、出所するための手段として就労支援を希望するのですが、長年従事している佐藤氏はそれを見極め、ごまかすことは出来ないと感じました。

就職先の事業所も寄り添ってくれるところを考えているとのこと。就職させて終わりではない」という言葉は、出所者に寄り添い後々まで気遣う思い、保護司にとっても同じような気持ちを持って接していくことを教えられました。

府中警察だより

生活安全課少年第二係長

石井 智子



今回は、警察庁スクールサポーター（以下スクールサポーターと表記）の活動についてご紹介します。

スクールサポーターとは、警察署と学校・地域のパイプ役として、少年の非行防止や児童等の安全確保対策に従事する警察官OBを言います。

スクールサポーターの活動として「少年の非行防止及び立ち直り支援対策」「学校等における児童等の安全確保対策」「少年、保護者その他関係者を対象とする非行防止教室の開催への支援」「有害環境の浄化活動」等が定められています。

府中警察署にも二名のスクールサポーターが配置されており、手製のグッズを駆使して児童等の視覚に訴え、記憶に残るわかりやすい講話を実施している他、登下校時のパトロールを行う等、日々精力的に活動しています。

中学校生活指導主任と保護司との懇談会

令和5年11月9日(木)午後4時から府中市立教育センターにて中学校生活指導主任と保護司との懇談会が行われました。

学校との連携委員会委員

崎山 弘

府中市教育委員会指導主事の林達樹先生が府中市立中学校のいじめと不登校の現状について基調報告された中で、いじめについては、令和5年3月22日に制定されたいじめ防止対策推進条例に基づき、いじめ問題対策委員会が開催され各学校でも未然防止策が進められていること、不登校については、各学校でサポートルームの設置を行っていることなどの説明があった。その後5つの地域別に分かれて懇談が行われ、筆者は第七中、第十中のグループに参加した。教室に入れない生徒を別室で受け入れるサポートルームは、生徒からの需要はありながらも実施曜日と時間帯は各学校の人的要因のために十分に対応できない部分があるように、保護司会がサポートルームに関



わる人材確保に協力できればよい連携となると感じる次第であった。

学校との連携委員会委員

住崎 岩衛

生活指導主任の先生から、コロナの影響でいじめのかたちもかわり、対話が無くなり、友人の悪口をSNSに書き込むトラブルが発生している。不登校も増加傾向にある。サポートルームの利用は10人程通う。SNSでつぶやき、何処から「いじめ」にあたるのが難しい。生徒同士の会話は、下級生は上級生に対し、対等の立場で話す。普段生徒は、親から叱られることが殆どない。学校で問題を起こした生徒の親に連絡を入れると、相手の生徒に問題があると発言する親もいる。我々の時代は上級生に対し敬語を使い、部活動の先輩と廊下で会えば、声を出し挨拶することが当たりまえであった。保護司に出来ることは、サポートルームに向き、生徒の気持ちを汲み取り問題を共有し、将来に向けてモノの見方・考え方等の助言が出来るかと良いと感じた。

200点を超える応募 第73回社明 作文コンテスト

今年度は例年になくたくさんの中学生の皆さんの作品が寄せられました。学校によっては、学年ぐるみの授業で取り上げられ、それをもとにした作品が特に目を引きました。優秀賞として次の二作品が受賞の荣誉に輝きました。

☆東京都中学校長会会長賞

府中市立府中第一中学校

三年 神山 凛さん

「非行を防ぐためには」

☆東京更生保護施設連盟会長賞

府中市立府中第十中学校

二年 安重 結衣さん

「一番輝ける場所です」

また、次の二校が50点以上の応募数で奨励賞を受賞しました。

・府中市立府中第七中学校

・府中市立府中第九中学校

皆さん、おめでとうございます。

受彰者

(敬称略)

府中地区保護司会

法務大臣表彰

全国保護司連盟理事長表彰

山本 裕章
市川 一徳
筒井 孝敏

関東地方更生保護委員会委員長表彰

関東地方保護司連盟会長表彰

中込 八重子
市川 勉
崎山 弘
林 宏至

東京保護観察所長表彰

石塚 百合子
矢島 千里

東京都保護司会連合会会長表彰

齋藤 ひとみ
廣野 巧

東京保護観察所長感謝状

隆 宗男

府中地区保護司会永年在会

二十年 加藤 茂
十年 田中 陽子
小川 晴美
古川 耕央

府中地区更生保護女性会

法務大臣感謝状

奥田 美津子

日本更生保護女性連盟理事長表彰

堺 美佐子

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

北村 のぞみ

東京保護観察所長感謝状

延藤 百合子

田中 陽子

東京更生保護女性連盟会長表彰

佐藤 節子

林田 あゆみ

法務大臣表彰を受けて

山本 裕章



9月20日に、令和5年度保護司中央研修会が、日経ホールにて開催され、法務大臣表彰が行われました。代表者が法務大臣より、法務大臣表彰を受けました。全国で法務大臣表彰を受けるのは822名でした。このように多くの保護司が、永年にわたり貢献していることに驚きました。

式典後、日本福祉大学の原田正樹学長より「地域共生社会の実現に向けて」の講演が行われました。その中でこれからの高齢者に必要なこと

「きょうよう」と「きょうういく」、「今日、用があること」「今日、行くところがあること」「この言葉が心に残っています。この言葉を今後の生活の糧として行きたいと思っています。」

法務大臣表彰を受けられたのは、諸先輩のご指導と助言のおかげです。今後、保護司の皆様と共に、退任まで頑張りたいと思っています。

退任あいさつ



伊藤 ゆきえ

朝の診察を終え、学校帰りの私を待った父の「さあ行くぞ！」を合図に、老人施設へ同行。診察の間、折り紙、あや取りを手に各部屋へ行き、皆とおしゃべりをする小学生でした。西多摩医師会会長の任を担い、地域医療の格差是正に力を注ぐ一方、学校、警察に出向。傍ら方面委員、民間司法保護委員等、日夜、救済という父の精神的背景を見て育った私は、27歳民生委員受嘱、更生保護女性会、保護司と気付けば亡き父の足跡でした。

対象者に少年・少女が多く、少年院からの彼らの謝罪、私の励まし、繋いだ封書を最後のシュレッターにかけました。

諸先輩方、同期の皆さま方のご指導、ご厚情に感謝を申し上げます。ありがとうございます御座いました。

退任保護司

令和6年1月31日付

長い間、ありがとうございました。

矢島 千里

新任保護司

令和5年9月17日付

小場 淳吾



この度、保護司に任命されました。2回の新任研修を終

え、保護司の活動を全てではありませんが理解し、不安の中スタートを切りました。今後は各研修を通じ先輩保護司の方のご理解ご指導を頂きながら、民間ボランティアの旨を受け止め、自分の微力な経験ではありませんが、力まず平常心を持って、安全、安心なまちづくりに努めてまいります。



北村 のぞみ

保護司という使命が私に務まるものと不安や戸惑いの中、新任研修に参加させて頂きました。益々自分の未熟さと責任の重さを痛感いたしておりますが、自己研鑽に励み犯罪や非行をした人の立ち直りの支援が出来るらばと思っております。先輩の皆様にご指導いただきながら、微力ではございますが、保護司会活動も一杯努めて参りたいと思っております。ご指導を宜しく願いたします。



サポセン移転の経過と諸課題

サポートセンターふちゅう
運営委員 杉浦 渉

平成27年に市の旧施設を借用して現在地に開設して8年余。建物の老朽化に伴い今年度末には社会福祉協議会の入る「ふれあい会館」の一角に移転すべく準備を進めている。

移転準備委員会の立ち上げ

サポートセンター運営委員会を母体に準備委員会を昨年7月に立ち上げ移転に備えてきた。移転先関係機関との調整や機器・什器類、書類・書籍の仕分けを各部や委員会とともに進捗中である。また、準備委員はじめ会員対象の移転先見学会も実施してきた。

移転で何が変わるか、その課題は

(1)立地 「ふれあい会館」は、京王線府中駅から徒歩7分という市の中央部に位置しており利便性が増す。駐車場は、近隣の駐車場を利用する。

(2)活用 対象者との面接は引き続き不可である。また、事務所としての専有部分が今までの約三分の一と狭くなり、諸会議も10名程度以内となる。利用時間も月々土曜日の9時～21時で、日曜・祝日は不可となり、活用可能な時間が制限されることになる。

(3)機能 企画調整保護司の駐在を核とするサポセン業務機能は維持される。しかし、各部や委員会の諸会議や作業は他の施設の利用を余儀なくされるため、その活動の量と質を精査する必要性に迫られる。収納スペースも限られるため、保管、管理する書類や物品の精選が欠かせない。

今後のスケジュール

書類や機器の搬送準備を進める一方、関係諸機関、他地区保護司会へ移転通知をする。業務開始を3月11日に予定し、現サポセンの閉所式、新サポセンの開所式も前後して行う予定。



- 【新名称】** 更生保護サポートセンターふちゅう
- 【新住所】** 〒183-0055
東京都府中市府中町1丁目30番地
府中市立ふれあい会館1階
- 【電話・Fax】** 042-319-8608
- 【E-mail】** saposen@asahinet.jp
- 【業務開始日】** 令和6年3月11日(月)

府中地区保護司会コラム¹⁸

孫の大病は夢とボランティア精神を紡ぐ

隆 ミワ子

コロナ禍、白血病の大病と闘った孫は、辛い副作用も乗り越え見事に寛解を勝ち取り、大好きな高校で喜々と勉学に励んでいる。「必ず治してあげる」とのドクターの言葉は「将来、子どもに勇気を与えられるような医者になりたい」との夢に繋がっている。コロナ禍、家族も面会が制限される中、不安に寄り添い、治療に対するパワーと笑顔を届けてくれた「ファシリティドッグ」。お世話になった恩返しに、ファシリティドッグの育成や普及に取り組んでいる認定NPO法人シャイン・オン!キッズの広報活動に喜んで参加している。二番目の孫は、長期の治療に挑戦してきた姉の姿を通して、看護師の免許を持つファシリティドッグのハンドラーになる夢を持った。又、姉にウィッグを無償で提供してくれたNPO法人への恩返しにと、約1年かけて伸ばした髪を贈呈することができた。ばあばも頑張るぞ。

**ひとりでも
多くの理解者を**

府中地区BBS会
会長 岩崎 弘治

保護司会の皆様方には、設立時
はもとより、社明運動その他の行事
におきまして日頃から特別なご配慮
をいただき感謝しております。弊会
は昨年12月をもちまして、おかげさ
まで5年目を迎えることができました
。府中地区BBS会を知って
いただく機会も増え、継続的に活動
ができております。

先日更生保護施設での活動の際、
施設長より「(更生には)事情がわか
る人が一人でも多くいることが大切
だ。社会では(BBSとの交流会の
ように)うまくはいかない。」とい
う言葉がありました。BBS活動
は、社会に非行への理解者を増やす
役割も担っているのだと実感した次
第です。

こつこつと着実に活動し続けるこ
とを信念とし、今後も府中地区にお
ける更生保護活動により一層の発展
に尽力していく所存です。引き続き
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願
い申し上げます

福祉まつり

広報部
奈良崎 芳恵

令和5年10月15日に第43回福祉ま
つりが「みんなが主役！地域で支え
合うまちづくり」をテーマにけやき
並木通りで行われました。広報部を
中心に準備を進め、府中地区保護司
会のブースでは、社会を明るくする
運動のPRグッズ「ホゴちゃん」の
ぬり絵の配布など、関心を持って
いただけるよう取り組みました。朝か
ら生憎の風雨でしたが、午後からは
天候も回復し賑わいました。こうし
た機会を大切に、保護司の活動を一
人でも多くの人に知っていただけ
ばと思います。



活動日誌抄

- 9月
 - ・多摩連常任理事会・懇親会
 - ・府中地区更生保護女性会
道徳授業参観
- 10月
 - ・保護司等中央研修会
 - ・関東地方保護司代表者協議会
 - ・第6ブロック保護司組織
運営連絡協議会
 - ・第43回福祉まつり
 - ・第2回保護司候補者検討協議会
 - ・府中刑務所運動会
 - ・第7ブロック保護司組織
運営連絡協議会
- 11月
 - ・府中刑務所第48回文化祭
 - ・府中市社会福祉協議会
創立60周年記念式典
 - ・府中市社会福祉協議会理事会
 - ・東保連合会創立70周年記念
東京更生保護大会
- 12月
 - ・多摩連協議会受彰祝賀会
 - ・第2回保護司特別研修
 - ・東保連理事会
 - ・多摩連常任理事会・懇親会
- 1月
 - ・新年賀詞交歓会
 - ・むさし府中青年会議所賀詞交歓会
- 2月
 - ・府中地区更生保護女性会親睦会

編集後記

年頭に発生した能登半島地震によ
り、犠牲になられた方々のご冥福を
お祈りするとともに、被害を受けら
れた皆様に心よりお見舞い申し上げ
ます。

日々、時間作りに努力し、活動を
しております。関係諸機関・会員の
皆様に、今日この頃の情報をして新
しい取組等を提供し、情報発信に努
めております。

新型コロナが5類に移行したこと
で、更生保護活動が動き出しました。
第7ブロック協議会では活発に意見
交換がなされ、各地区との交流も深
まりました。

今後も情報発信に邁進し、部員一
同知恵を出し合い、紙面作りに注力
したいと思います。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さっ
た皆様に感謝申し上げます。
佐藤 政利

広報部

部長	奈良崎芳恵	佐藤 政利
副部長	若松 正子	隆 ミワ子
書記	田中 節子	中込八重子
会計	市川 勉	市毛 彰
部員	赤塚 正坦	柁 晶一
	吉野 博文	市橋 正造

題字は高野市長の揮毫によるものです
表紙の写真「武蔵府中熊野神社古墳」
提供 府中市